



安全・安心をお届けいたします

# グリーンプロジェクト情報 第3号

きらきら Eyeランド  
JA庄内みどり

発行：庄内みどり農業協同組合  
協力：酒田農業技術普及課

## 育苗管理のスタートです！ 温度計の設置できめ細やかな管理を！！

仙台管区気象台の1か月予報（3月31日発表）では、4月の天気は数日の周期で変わると予想されていますが、向こう1か月間の気温は平年よりも高い見込みです。

播種作業については、催芽90%以上の芽切れを確認し、作業機械の準備、点検を完全に整えてから行いましょう。

また、圃場の排水対策をしっかり行い、早めの耕起作業を心掛けましょう。

### 技、其の一 上手な催芽は健苗づくりの基本です

- ① 催芽温度は30～32℃とし、催芽の程度はハト胸状態とします。
- ② **必ず90%以上の芽切れを確認してから播種作業に入りましょう。**
- ③ 催芽時に“活水”（100倍液）を使用することで更に発芽が促進されます。



### ばか苗病の対策

今年も浸種期間中の気温が高く、菌が増殖しやすい環境にあります。ばか苗の発生が懸念される為、発生を助長させないよう育苗期間中は以下のことに気をつけましょう。

- 育苗培土や苗床に籾殻や生焼けのくん炭を使用しないで下さい。また、稲ワラや籾殻を育苗施設周辺に放置しないで下さい。（腐熟が不十分な堆肥を含む。）
- 各生育ステージの最適温度を遵守し、高温にならないようにして下さい。

### 技、其の二 置き床の準備と適正な播種量

- (1) ハウス内・トンネルの置床は、整地を行ないできるだけ均平にする。  
箱の下には薄い板、塩ビのパイプ等を敷きベタ置きにしない。
- (2) 排水が悪い場合は、周辺に排水溝を掘る。

1箱当り播種量の基準

	目標葉齢	育苗日数	乾燥籾重	催芽籾重	催芽籾量
稚苗	2.5葉	25日	150～170g	180～200g	1.6～1.8合

### ※育苗マット使用上の注意点

- ・育苗マットの場合は、播種機の灌水パイプを1～2本増設し、マットにたっぷり灌水して下さい。（目安として2割/箱）また、覆土は多少多めに掛けて下さい。
- ・「こめパワーマット」・「エースマット」は、白い面（肥料の塗ってある面）が上面となりますのでご注意下さい。
- ・覆土は、通気性、透水性を損なわない粒子の粗めのものをご使用下さい。
- ・灌水量は、覆土にしみ込む程度に調整して下さい。

### 技、其の三 出芽時の最適温度は 32℃

出芽温度が32℃を超えると高温障害はもちろん徒長苗の原因となり、苗の仕上がりに影響するので、出芽時の温度管理には細心の注意を払いましょう。

※適切な温度管理の為に**必ず温度計を床土に挿して測りましょう。**

#### ○出芽不良の場合

出芽不良の場合は、“活水”の50倍液を箱当たり100～200ml施用して下さい。3日おきに2～3回が目安です。

（特別栽培米では、化学合成N成分使用量0.01kg/10aがカウントされます。）

#### ○被覆資材の種類と取り扱いに注意

##### 『ダイオシート』

マルチ下の高温に注意し、日中の必要な時間帯はハウス全体を被覆し、高温障害を防止しましょう。

##### 『シルバー被覆資材（ふあふあSL-60等）』

**出芽期間中に高温障害の発生が多いので下記を参考に高温対策に努めましょう。**

- ①マルチの上にベタがけのホットンカバーやラブリットを併用する。
- ②高温になりそうな好天日は、早めの換気操作でハウス内の温度上昇を防ぎましょう。

### 技、其の四 地力・品種に合わせた本田基肥設計

地力の高い土壤では、施肥にそれほど頼らなくても、十分な生育量を得ることが出来ます。良食味米生産のために、地力・品種に合わせた適正な基肥量を施用しましょう。

地力別品種別基肥の量の目安

（窒素成分：kg/10a）

品 種	地 力			
	高い			低い
	細粒強グライ土	細粒グライ土	中粗粒グライ土	中粗粒灰色低地土
はえぬき	3.5	4.0	5.0	6.0
ひとめぼれ	3.0	3.5	4.0	5.0
コシヒカリ	2.0	2.0	2.5	3.0
つや姫	3.0	3.0	3.5	4.0

乾土効果を高めるために**耕起は早め**に実施しましょう。（裏面へ続く）

しっかり育てよう！庄内みどりのつや姫

**つや姫情報コーナー**

- 土づくりを積極的にしましょう。**  
土壌分析の結果、pHが低下し、ケイ酸が不足している圃場が増えていきます。堆肥や土壌改良資材を積極的に投入しましょう。
- 播種の準備をしましょう。**  
催芽は32℃1～2日を目安として、芽の長さ1mm程度（ハト胸状態）で揃った催芽もみを播種しましょう。  
また、今年は種子量が少ないので、必ず播種量と箱数を確認しましょう。

- 堆肥を毎年散布している圃場では、基肥窒素量を基準値より0.5～1.0kg/10a程度減らして対応しましょう。
- 大豆等の後地では、基肥窒素はゼロとし、前年が調整水田の場合、基肥窒素量は慣行の半分以下にしましょう。  
品種は「はえぬき」で対応しましょう。
- 特別栽培米については、あらかじめ決められた栽培基準を厳守しましょう。

**水田の排水状況の確認を実施し、明渠の手直しや明渠と排水口とをスムーズにつなぐ等の作業を行いましょう。  
又、サブソイラーにより、暗渠の排水効果を高めましょう。**



### 特別栽培米の方々へ

**特別栽培米は計画されている資材を計画した通りに使用することが求められます。**

使用する際は資材名を確認し、定められた使用量・使用時期を必ず守りましょう。尚、栽培基準（ガイドライン）以外の資材を使用した場合、一般米扱いとなりますので、安易に自己判断することなく、最寄りの営農課までご相談下さい。

#### 播種・育苗期間中における注意事項として

育苗期間中の作業ミス、混乱を生じない様に**特別栽培米である目印、品種名等が確認できるよう表示をしましょう。**

- ・注意 **本田畦畔及び周辺に除草剤は使用できません。  
(田植え前の散布でも使用できません)  
隣接農家と相互理解をはかりましょう。**

#### ○トラクター等による農作業事故を防ぎましょう！

農作業事故が最も多い季節です！安全第一をお願いします。  
4/10～6/10は「春季農作業事故防止運動強化月間」です。

#### ○農薬は適正に使用しましょう！

①適用作物 ②使用量・希釈倍数 ③使用時期 ④総使用回数を守りましょう。  
※ケラの予防対策として育苗置き床に使用できる登録農薬はありません。  
波板などの設置による侵入防止策、有孔ポリを敷くなどの対策を行って下さい。

#### ○栽培履歴は必ずしっかり記帳しましょう！

### ☆育苗ハウスで野菜を作付される方へ！

ポジティブリスト制度施行後に、育苗箱からこぼれた箱施用薬剤や薬剤処理後のかん水で農薬の成分が土壌に残り、後作で栽培した野菜に吸収されて検出される事例が発生しています。

箱施用薬剤は、ハウス内での使用はやめて、田植え前に圃場で散布しましょう。又、箱施用剤を床土混和した場合は、後作で野菜の栽培をしないでください。やむをえず栽培する場合は、かん水した水を土壌に浸透させないよう、育苗箱の下に無孔シートを敷いて、厳重に管理してください。

詳しくは、JA園芸課又は、各園芸センターへお問い合わせください。

### 技、其の五 直播栽培のポイント

#### 《鉄コーティング湛水直播栽培》

##### ○播種時、播種後の水管理と適正苗立ち数

代かきから播種までは3日間程度空けて圃場を落着かせましょう。播種時の目安は、ゴルフボールを1mの高さから落として半分埋まる程度の固さに調整しましょう。

播種同時または播種直後に除草剤を散布した場合は、7日間湛水して除草剤の効果を安定させましょう。その後圃場が乾かない程度に5日程度落水し、出芽を促進させましょう。

適正苗立ち数80～100本/m<sup>2</sup>の確保に努めましょう。鉄コーティング湛水直播栽培



#### 《カルパーコーティング湛水直播栽培》

播種時は圃場の表面水が残る程度の落水とし、覆土がしっかり行われて土中播種となるように田面の固さを調整しましょう。

播種後は土中の種子の出芽を促進するため、落水期間を7～9日程度（平均気温が14℃の場合）設定します。おおむね出芽が揃ったら入水し、一発除草剤を散布します。

#### 《乾田V溝直播栽培》

播種作業は4月中に完了させましょう。極端な乾燥状態が続く場合は一時的にフラッシングを行い、早期の苗立ち確保に努めましょう。

##### ○除草剤の散布

①出芽前除草剤（ラウンドアップマックスロード等）の散布は、周辺圃場の代かき前までに散布しましょう。**※飼料用米での出芽前除草剤散布は『草枯らしMIC』です。**

②ヒエ5葉期以前で、圃場に入水する5日位前、イネの葉齢で1.5葉（5月下旬～6月上旬）を目安にクリンチャーバスME液剤等を散布します。

直播栽培で使用できる除草剤は限られています。剤によって使用時期も異なるので、使用時期・使用方法等を確認して適切に使用し、効果的な除草に努めましょう。



不耕起V溝直播栽培

### ☆直播栽培履歴作成しました！

水稲直播の栽培履歴を新たに作成しました。鉄コーティング直播と乾田V溝直播の2種類です。生育ステージごとの留意点をわかりやすく記載しました。各営農課指導員にお問合せ下さい。また、JA庄内みどりのホームページ (<http://midorinet.or.jp>) にも掲載していますのでご覧下さい。